

「北海道開発局TEC-FORCEドローン訓練会」を公開します

～ドローン飛行の実践的パイロット育成と3Dモデル化技術の活用促進～

TEC-FORCE 活動に求められる災害時の実践的なドローン操縦・撮影技術を身につけることを目的に、実際の災害を想定したドローン訓練会を開催します。また、デジタル人材育成推進のため、ドローンで撮影した画像から3Dモデルを作成する取組も行います。

訓練会は下記の予定で行いますので、お知らせします。

記

開催日時： 令和6年7月2日（火） 9時30分～16時30分（詳細は別紙1参照）

開催場所： 旭川市忠別川河川敷（旭川市旭神町）

※ 雨天時や強風時等、屋外飛行が困難と判断される場合は、次の場所で開催します。

旭川市総合防災センター（旭川市東光27条8丁目99-14）

参加者： 15名（北海道開発局職員）

実施内容： ①講師による講話、基礎訓練、デモンストレーション

②実際の災害を想定した実技訓練

③実技訓練で撮影したドローンの映像について、班ごとに発表及び解説を行う
（旭川市総合防災センター内）

④3Dモデルの作成（旭川市総合防災センター内）

取材申込： 別紙2の取材申込書を令和6年6月28日（金）の12時00分までに

メール<hkd-ky-bou-1-81w@gxb.mlit.go.jp>にてお申し込みください。

<参考>

TEC-FORCE：Technical Emergency Control Force の略。

大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、円滑かつ迅速に災害対応の支援を行うことを目的に、被災した地方公共団体等に国土交通省のエキスパート職員を派遣するものです。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

事業振興部 防災課 災害対策管理官 金田 尚 （内線 5954）

事業振興部 防災課 課長補佐 堀田 靖文 （内線 5942）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

北海道開発局TEC-FORCE ドローン訓練会

開催内容

日時 令和6年7月2日(火) 9時30分～16時30分
 場所 屋外：旭川市忠別川河川敷
 (旭川市旭神町)
 屋内：旭川市総合防災センター
 (旭川市東光27条8丁目99-14)
 ※悪天候時は屋内のみで実施
 講師 (代表講師) 請川博一氏、野坂和宏氏
 参加者 15名程度

時間割

9:30～講師による講話
 9:40～固定翼機の紹介
 10:00～基礎訓練(基本操縦、飛行テクニック、自動飛行等)
 12:00～お昼休憩
 13:00～講師によるデモンストレーション
 13:10～実際の災害を想定した実技訓練 ↑屋外
 14:30～屋内会場へ移動 ↓屋内
 15:00～3Dモデルの作成
 15:10～各チームの実技訓練内容発表会
 16:00 講師による講評



代表講師紹介



ドローンパイロット 請川 博一【(有) RaveProject 代表】

無人航空機ドローンのパイロットとして30年のキャリアを持つ。

ドローン空撮の第一人者。

精細なドローン操縦技術と卓越した映像センスで、数々のCMやテレビ番組の撮影を手がける。火口など危険地帯や人が立ち入れない場所の調査などでも活躍。

危険なものというイメージが広がってしまったドローンの可能性と安全性を広く知ってもらうため、定期的に技術講習会を開催して操縦の指導も行う。

自身もテクノロジーの発展と安全性の両立を目指して撮影技術を磨き続け、日々、新たな可能性を見出している。

「プロフェッショナル仕事の流儀」(NHK 2016年5月23日放送)に出演。

(参考：ted×sapporo.com)

E-mail : hkd-ky-bou-1-81w@gxb.mlit.go.jp

取材申込書

この取材申込書を用いて上記連絡先までメールにてお申し込みください。
申込締切りは令和6年6月28日(金)12時00分までとします。

■ 会社名及び部署名

■ 取材者役職・氏名（全員の役職・氏名を記入願います）

① 代表者

②

③

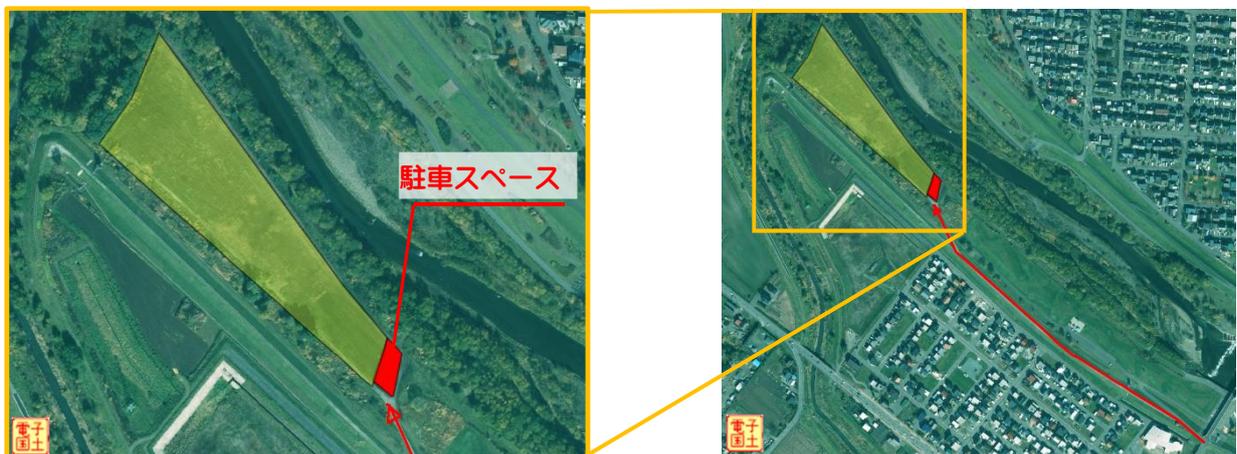
■ 代表者連絡先（悪天候時に開催場所を変更する際の連絡先）

■ テレビカメラの持ち込み有無（該当するものに○をつけてください）

有 ・ 無

※ 御記入いただいた個人情報については、「北海道開発局 TEC-FORCE ドローン訓練会」に関する連絡以外には使用しません。

■ 駐車スペースについて



堤防から降りてすぐの所に駐車できるスペースがございます。